キャラクター名: リール・フェルゼク

プレイヤー名:

種族	グラスランナー	種族特徴	マナ不干渉、虫や植物との意思疎通
生まれ	軽戦士	性別	男 / 年齢 18
冒険者Lv	5	経歴	裕福な家に生まれた。
			魔物に襲われたことがある。
経験点	330		誰かを救ったことがある。

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	13	器用度	6	2		21 + 1	3
		敏捷度	11	1		25	4
体	1	筋力	4	1		6 + 1	1
		生命力	11			12	2
心	11	知力	2	1		14	2
		精神力	15	2		28	4

技能	Lv.	技能	Lv.
フェンサー	5		
スカウト	5		
レンジャー	1		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	5	8	9	6
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	クロースアーマー		1	0	2
盾	バックラー		1		
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				1	
回避技能	フェンサー	合計値		10	2

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ファストスパイク[6/1]	1H	1	1	2d+ 10	9	7	6										
ファストスパイク[6/1]	1H	1	1	2d+ 9	9	7	6										
				2d+													

戦闘特技

トレジャーハント	2120 p		p
両手利き	223 p		p
回避行動	218 p		p
武器習熟/ソード	221 p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
グラスランナー語	○	○

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□
保存食（1週間分）x2	○□□○□□
テント	○□□○□□
救命草x10	○□□○□□
魔香草x3	○□□○□□
着替えセット	○□□○□□
ダガーx2	○□□○□□
ヒーリングポーションx5	○□□○□□
アウェイクポーションx3	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 379 G　　預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	25 m	75 m	2d+ 10	2	27

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/×	2d+ 9	2d+ 7	2d+ 9	0

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

練技/呪歌/騎芸/賦術

バラード	

名誉アイテム	点数
ファストスパイク専用化	50

名誉点 所持 24 /合計 74

部位	装備品	説明
頭		
耳		
顔		
首	幸運のお守り	戦利品ダイスに+1
背中	ウェポンホルダー	武器や盾をひとつ補助動作でこれに着脱できる
右手	巧みの指輪	器用度を+1点。壊すと一時的に器用度が13上昇。
左手	剛力の指輪	筋力を+1点。壊すと一時的に筋力が13上昇。
腰		
足		
その他		

その他メモ

リール・フェルゼクは村単位で言えば大きな家の出で、よく近くにある森で遊んでいた。
12歳のある日、いつもの様に魔物から逃げていたのだが、今日は運悪く集団の魔物に出会ってしまって窮地に陥った。
もうだめだと思い目を瞑ったが、しばらくたっても何もなかったので恐る恐る目を開けると、
魔物の群れは全滅していて、いつの間にか現れた黒い服に包まれた人だけが立っていた。
「かっこいい！」少年の目標が決まった。親にあの人みたいになりたい！と突然言い出し親が困惑したが。
目標のあの人のようになるため日々トレーニング（？）を友達（巻き添え）としていたところ、
森の中で村の少年が魔物に襲われているところに遭遇し、友達（巻き添え）と魔物を倒す。
十分に戦えるようになって来たと自信がつき、18歳のある日、突然「よし！冒険者になろう！」と言い、親を困惑させつつ冒険者となった。

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟